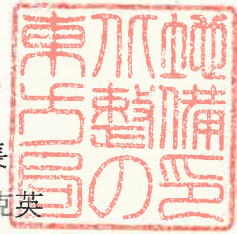


一般社団法人 日本補償コンサルタント協会
東北支部長 安孫子 健一 殿

東北地方整備局長
佐藤 克英



東日本大震災の記録資料等の調査・収集について（依頼）

東日本大震災における復興事業の推進につきましては、格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

震災から10年目を迎え、被災地では復興道路など基幹インフラの復旧・復興が着実に進展してきています。一方、近年頻発化・激甚化している自然災害に備えるという視点では、この震災の経験や記憶の「風化」が懸念されているところです。

建設業関係者におかれては、震災直後から、「くしの歯作戦」に代表される初動対応をはじめ、震災からの復旧・復興の現場の最前線を担ってきていただきました。改めて感謝申し上げます。

さて、この約10年間で蓄積された初動対応から復旧・復興の経験を記録・保存し一体的に情報発信することは、全国各地で想定される自然災害への対応の教訓として大きく貢献できるものと考えられます。

つきましては、震災10年目を迎えるこの機会に、関係する記録資料や遺物等を広く収集することといたしました。これらの記録資料等は、様々な形で情報発信に活用させていただく予定であり、「3.11 伝承ロード」におけるコンテンツとしても活用できるものと考えております。

会員各社にも御周知いただき、下記のとおり記録資料等の調査・収集に御協力賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

記

- 1 調査要領 別紙「東日本大震災の記録資料等の調査要領」のとおり
- 2 提出資料 別紙2「東日本大震災の記録資料等の調査様式」
- 3 提出日時 令和2年7月31日（金）まで（それ以降も随時受付いたします）
- 4 提出方法 FAX 又は Mail
- 5 提出先 東北地方整備局企画部企画課 佐々木、佐藤

Mail : sasaki-h82aq@mlit.go.jp (佐々木)、satou-y82bq@mlit.go.jp (佐藤)

FAX : 022-221-9890

問合せ窓口 東北地方整備局

企画部 震災対策調整官 亀井

企画課 佐々木、佐藤

宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟

TEL 022-225-2171 FAX 022-221-9890

Mail thr-densho@mlit.go.jp

東日本大震災の記録資料等の調査要領

1. 目的

- ・建設業関係者が保有する東日本大震災の記録資料・遺物等を調査・収集
- ・これらの記録資料等を一体的に情報発信（「3.11 伝承ロード」とも連携）
- ・全国各地で想定される自然災害への対応の教訓として活用

2. 収集物

[内容]

- ・被災の程度がわかるもの（地域・インフラ）
- ・初動対応・復旧・復興の過程がわかるもの
- ・建設業関係者の活躍がわかるもの
- ・建設業関係者の技術がわかるもの 等

[形態]

- ・写真（事前・事後、活動状況、施工状況）
- ・記録誌、パンフレット、冊子、掲載記事等
- ・遺物類（現物、物品、構造物、機材、機器類）
- ・映像（動画）
- ・当時の作業従事者の声、メモ 等

※そのほか、提供者のご判断でお気づきのものがありましたらお願いします。

3. 活用方法

- ・写真、資料等を使用した展示パネルの作成
- ・パネル・遺物等の展示（道の駅、復興祈念公園、シンポジウム会場等を想定）
- ・貸出展示（防災関連イベント、建設業関係研修会などを想定）
- ・HP等での紹介

4. 借用に関する諸費用等の扱い

次のような方法を基本としますが、具体のご相談に対応させていただきます。

- ・所有権は移転せず、無償で借用
- ・遺物等で輸送費が必要なものは、原則として整備局が負担（要協議）
- ・展示等の際には、所有者名を記載して活用
- ・管理者の責によらない展示物の毀損等については補償しない

東日本大震災の記録資料等の調査

会社名	:
連絡先	: 〒
担当者	:
電話	:
F A X	:
メール	:

記録資料・遺物等について

■「記録資料・遺物等」についての説明を記載して下さい。
初動、復旧、復興などいつ時点の内容なのかについても記載をお願いします。

■「記録資料・遺物等」がわかる写真、図等を添付して下さい。
現物の場合は大きさ（〇m×〇m等）を記載して下さい。
写真〇枚、資料〇ページを記載して下さい。